

ASEANの新輸出大国ベトナム

180781170 浅川昂輝



第一章 新輸出大国ベトナムの台頭

- 1980年代からASEAN貿易は拡大
- リーマンショック後の2000年代始めからベトナムの台頭
- 携帯電話、綿製品など特定品目の輸出
- 貿易の恒常的な黒字化を実現

第二章 日本企業とベトナム

- 日本へのベトナムへの直接投資は現在も増加傾向
- 成長潜在性の高さから、多くの企業は事業を拡大
- 法制度の不整備・不透明な運用など環境上の問題
- 相互補完関係の更なる構築が必要

第三章 交通インフラの整備

ハノイの交通インフラの発展

- ODAを活用し、インフラを整備
- 市内道路、鉄道などのプロジェクトが進行

国際港整備中のハイフォン

- 新型の大型投資はハイフォンに集中
- さらなる集積を生んでいる



第四章 韓国系企業のベトナム進出

- 中国に代わる生産拠点
- 将来の消費市場としての期待
- サムスン電子の進出が大きく影響

課題

- 人件費の上昇、部品調達の困難など問題多数
- 特定分野の直接投資の集中

第五章 ベトナム北中部

ハノイ圏

- ・中国華南地方との陸路ルートが形成
- ・中国企業の進出が加速

ダナン圏

- ・近年輸送インフラが整備
- ・IT、観光など比較優位を活かし経済圏を形成

第六章 産業人材育成

- 人材育成は長期的な産業発展には不可欠
- 公的な支援の必要性
- 事業戦略への不整合
- 情報収集や技術面での能力向上への課題

結論

- ベトナムはこれから高度成長期を迎える

課題

- 国有企業の改革
- 民間企業の育成、発展を強化
- 外資系企業との連携